

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	職員の入れ替わりも加わり、従前の基本的ケアの統一に乱れが生じている。職業倫理を始め、認知症の理解不足から、個人に合わせたケアが出来ていない。	利用者に対するケアの統一を目標に、全職員に認知症への理解、自分の役割を理解してもらう	会議時に認知症、事故などに対するリスクマネジメント・事例検討、チームケアについての勉強会を毎月行っていき、職員のスキルアップへと繋げていく。	12ヶ月
2	29	地域との交流を図る機会はあるが、まだ地域の一部の住民のみに限られている。	地域の方に入所者や職員の顔と名前を覚えて頂き、顔なじみの関係をつくり、地域の中の一人であるという意識を入所者、職員共に持つことができる。運営推進会議の参加を柔軟にする手段を進める。	毎月の地域の行事は継続して参加していく。散歩については、今まで施設の敷地内だけであったが、施設周辺も散歩していく。買い物は月に2回は入所者を連れて出ていけるように環境作っていく。町内回覧にて、運営推進会議の議事録を提出し、地域住民に参加を呼びかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。